

刑 法 犯 の 概 況

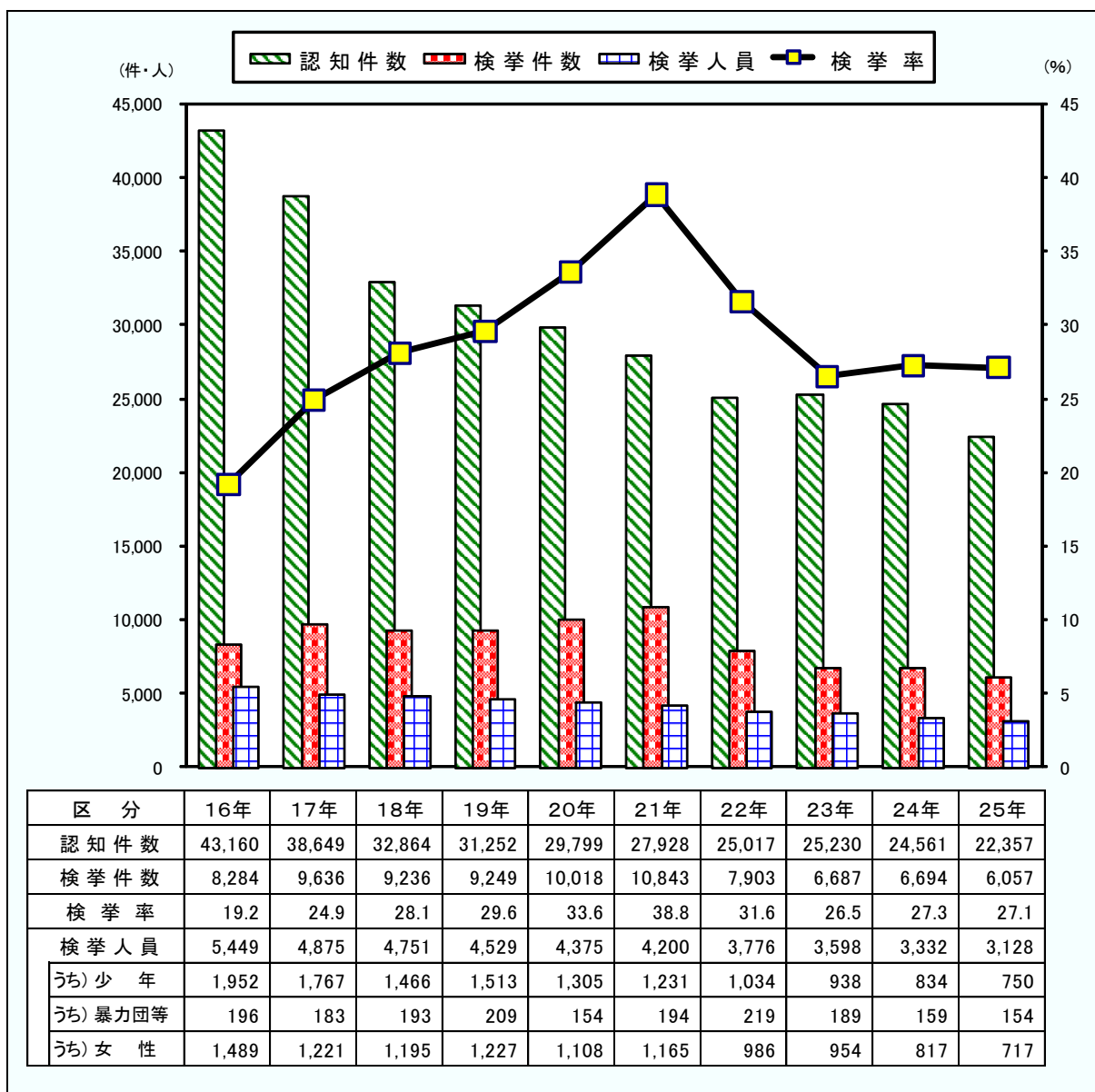
1 刑法犯

● 刑法犯は再び減少

平成25年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が22,357件、検挙件数が6,057件、検挙人員が3,128人、検挙率が27.1%でした。前年と比較すると、認知件数は2,204件（-9.0%）減少、検挙件数は637件（-9.5%）減少、検挙人員は204人（-6.1%）減少、検挙率は0.2ポイント下降となりました。

刑法犯の認知件数は25,000件前後で推移していましたが、再び減少となりました。

図-1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

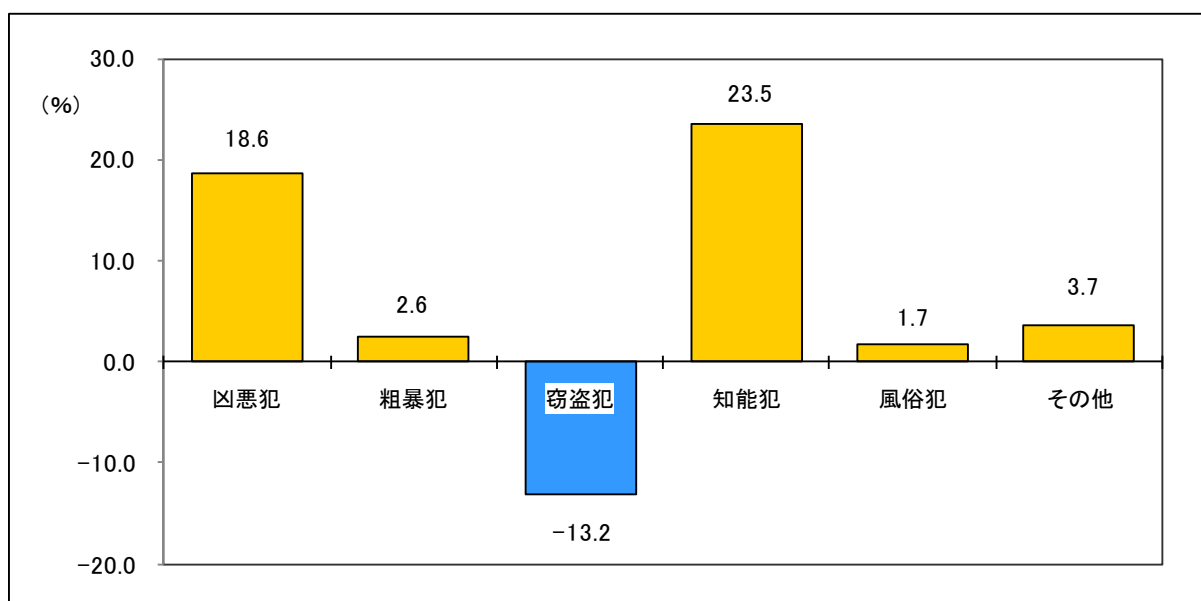


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が83件、粗暴犯が723件、窃盗犯が16,566件、知能犯が688件、風俗犯が178件、その他の刑法犯が4,119件でした。前年と比較すると、凶悪犯や知能犯は増加しましたが、窃盗犯は減少が目立ちました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	
平成25年	22,357	83	723	16,566	688	178	4,119	
構成比	100.0	0.4	3.2	74.1	3.1	0.8	18.4	
平成24年	24,561	70	705	19,081	557	175	3,973	
構成比	100.0	0.3	2.9	77.7	2.3	0.7	16.2	
増減	件数	-2,204	13	18	-2,515	131	3	146
	%	-9.0	18.6	2.6	-13.2	23.5	1.7	3.7

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強姦
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取・誘拐等、器物損壊など上記に掲げるもの以外の罪名

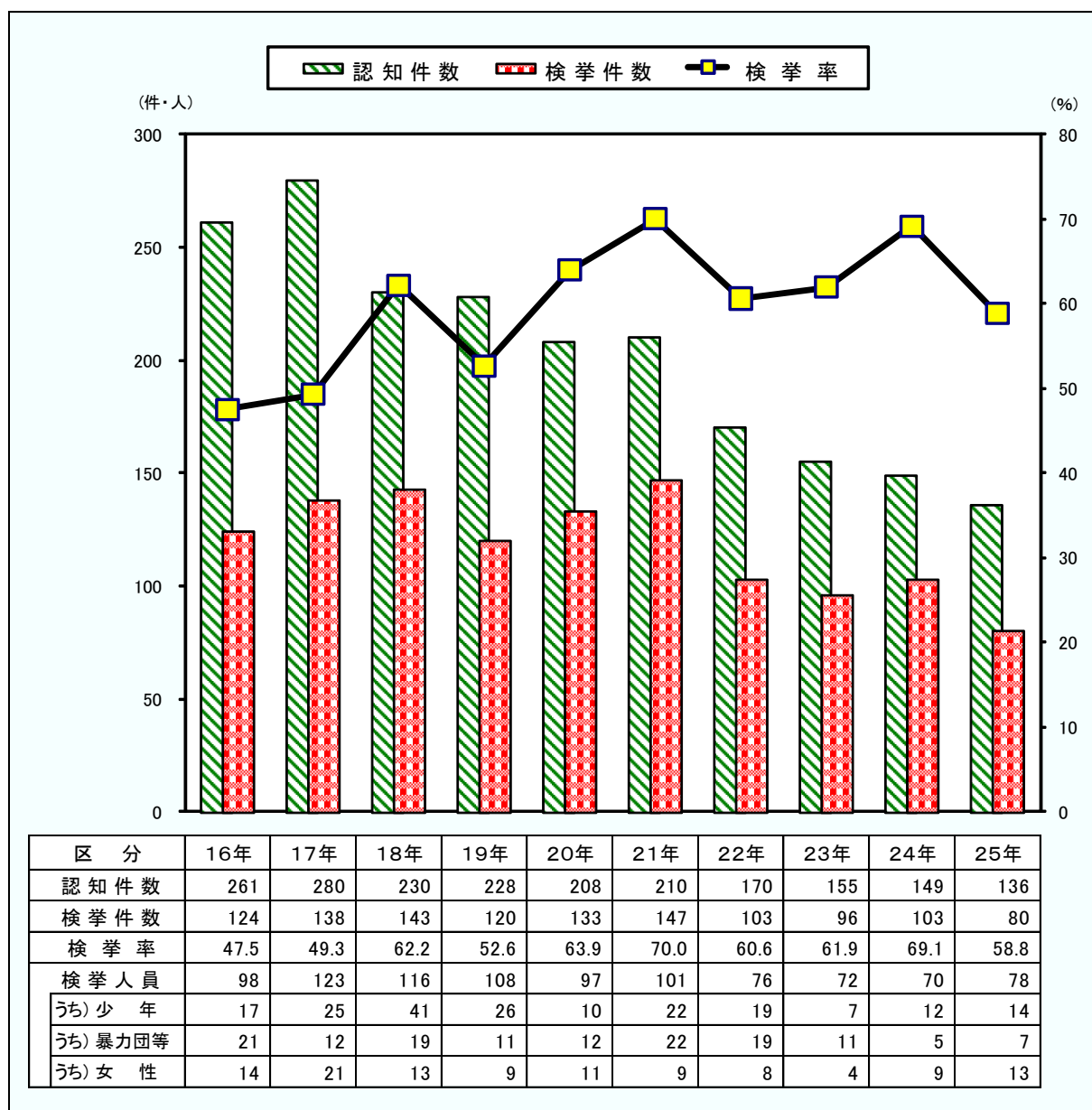
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつ）

● 重要犯罪はピーク時の半数以下に減少

平成25年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が136件、検挙件数が80件、検挙人員が78人、検挙率が58.8%でした。前年と比較すると、認知件数は13件（-8.7%）減少、検挙件数は23件（-22.3%）減少、検挙人員は8人（11.4%）増加、検挙率は10.3ポイント下降となりました。

重要犯罪の認知件数は4年連続で減少しており、ピーク時の平成17年に比べ、半数以下に減少しました。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

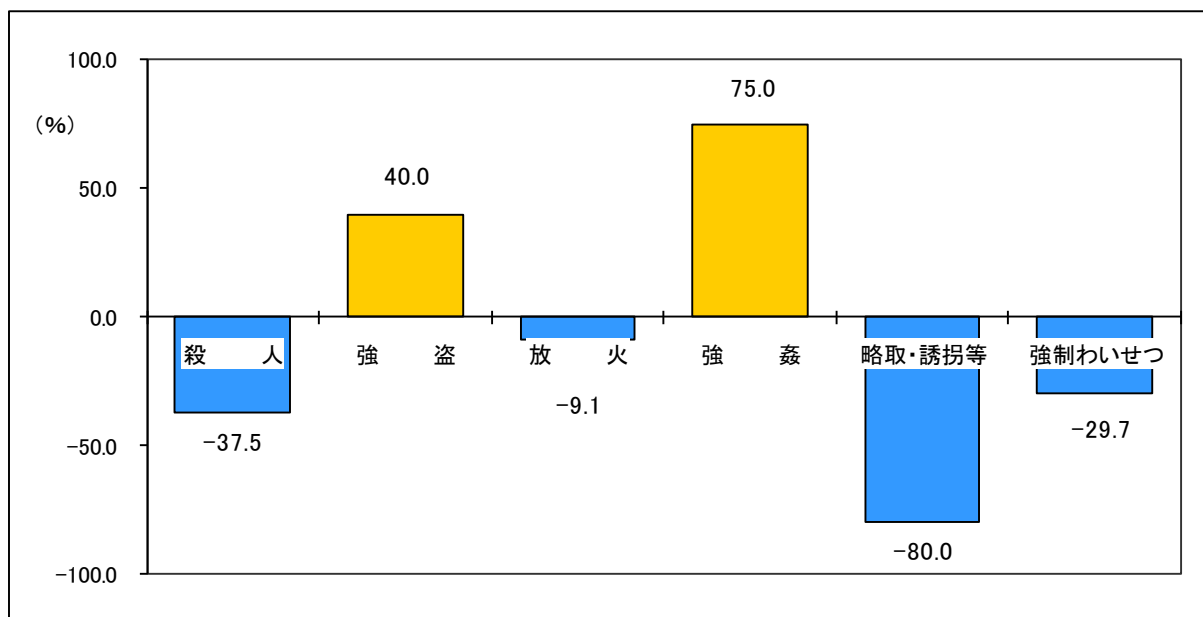


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が10件、強盗が49件、放火が10件、強姦が14件、略取・誘拐等が1件、強制わいせつが52件でした。前年と比較すると、強盗と強姦は増加しましたが、殺人や強制わいせつは減少しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

区分		罪種	総数	殺人	強盗	放火	強姦	略取・誘拐等	強制わいせつ
平成25年			136	10	49	10	14	1	52
平成24年			149	16	35	11	8	5	74
増減	件数		-13	-6	14	-1	6	-4	-22
	%		-8.7	-37.5	40.0	-9.1	75.0	-80.0	-29.7

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

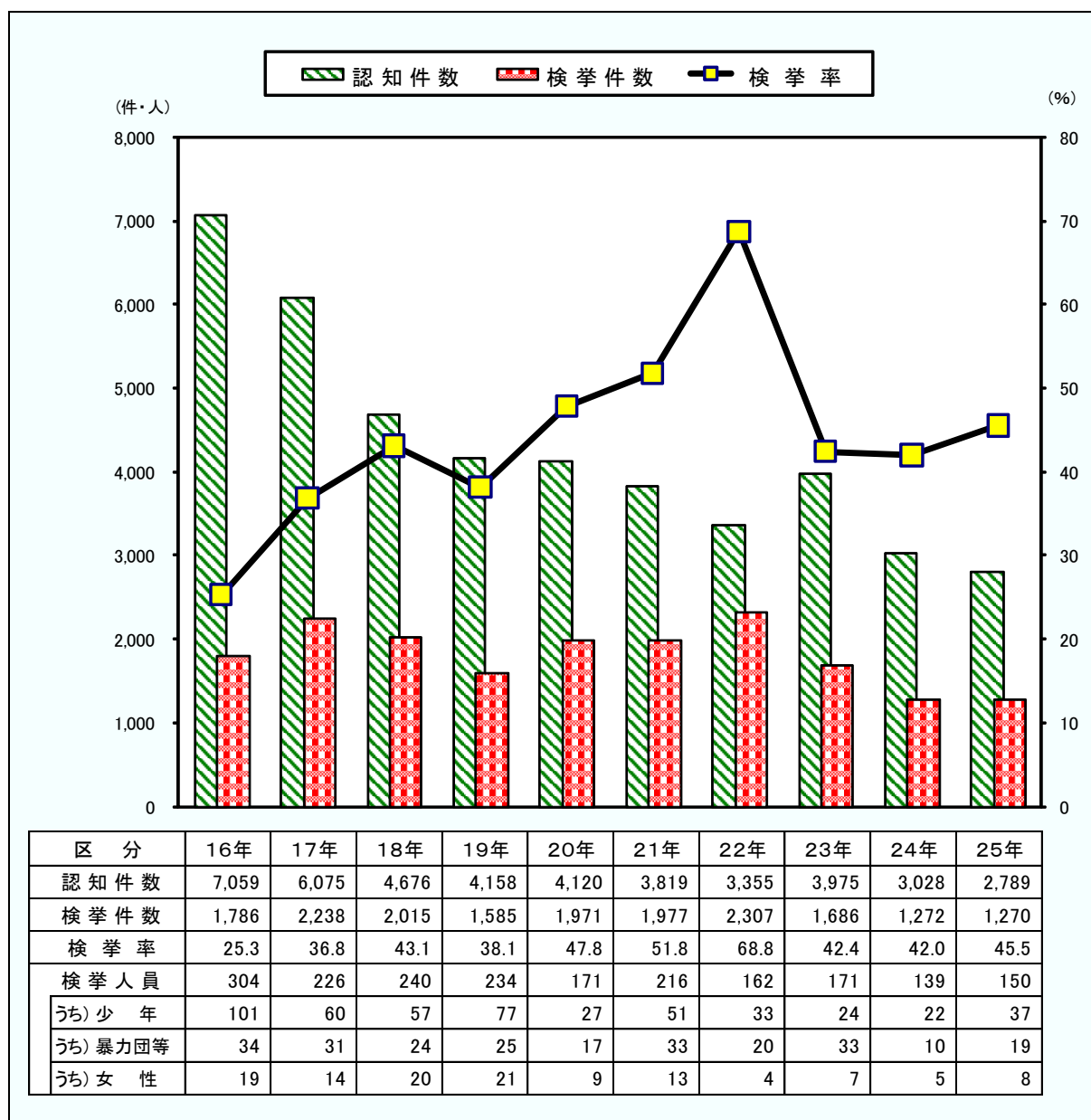
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

● 重要窃盗犯は昭和50年以降で最少

平成25年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が2,789件、検挙件数が1,270件、検挙人員が150人で、検挙率が45.5%でした。前年と比較すると、認知件数は239件（-7.9%）減少、検挙件数は2件（-0.2%）減少、検挙人員は11人（7.9%）増加、検挙率は3.5ポイント上昇となりました。

重要窃盗犯の認知件数は平成23年に8年ぶりに増加しましたが、25年は3,000件以下に減少し、統計資料が残る昭和50年以降で最も少ない認知件数でした。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

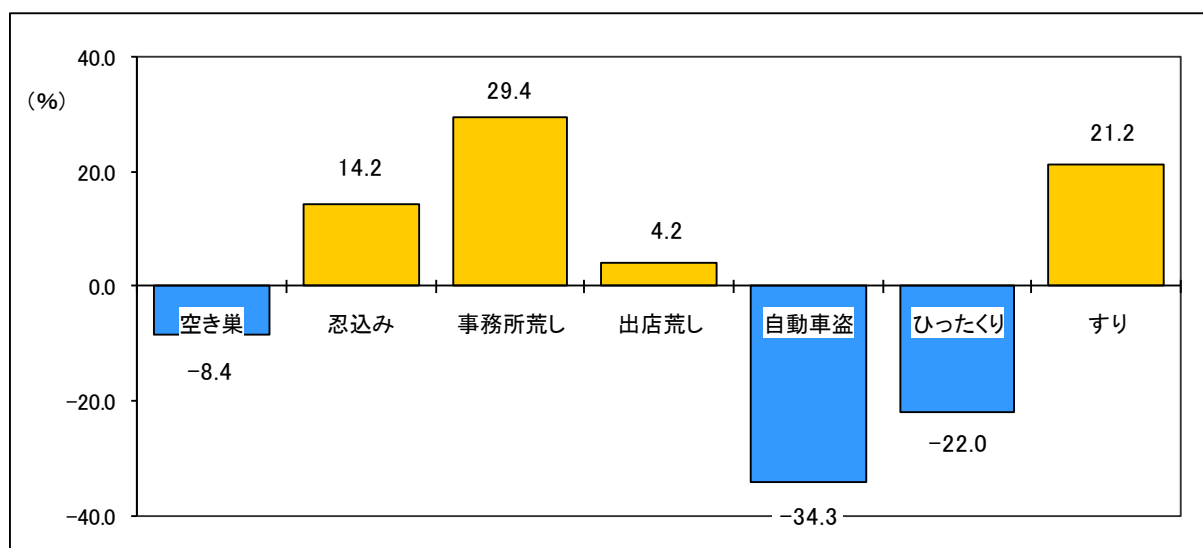


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が2,401件、自動車盗が316件、ひったくりが32件、すりが40件でした。前年と比較すると、侵入盗、自動車盗、ひったくりが減少しました。このうち、侵入盗は空き巣が減少しましたが、忍込み、事務所荒し、出店荒しはそれぞれ増加しました。

表-3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	居空き			
平成25年		2,789	2,401	1,017	297	46	316	32	40
平成24年		3,028	2,473	1,110	260	42	481	41	33
増減	件数	-239	-72	-93	37	4	-165	-9	7
	%	-7.9	-2.9	-8.4	14.2	9.5	-34.3	-22.0	21.2

図-6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。